本紙は各校ＰＴＡに、「校長・教頭用」、「ＰＴＡ会長・役員用」、「広報委員会用」、「事務局員用」を目安に配布しています。

平成26年度年次表彰式

家庭・学校・地域の架け橋として

～未来を担う子どもたちのために～

式辞
公益社団法人日本ＰＴＡ全国協議会
会長　尾上　浩一

尾上会長式辞

11月19日（水）東京都千代田区のホテルニューオータニにて、平成26年度ＰＴＡ年次表彰式が文部科学省事務次官　山中伸一様　をはじめ多数のご来賓をお迎えし盛大に開催された。今年度受賞したのは、文部科学大臣表彰１２９団体、日本ＰＴＡ会長表彰１２１団体、個人表彰２２１人、そして感謝状が４人に贈られた。また第36回全国小・中学校ＰＴＡ広報紙コンクールの表彰式も同時に行われた。

平成26年度ＰＴＡ年次表彰式及び第36回全国小・中学校ＰＴＡ広報紙コンクールの表彰式を挙行するにあたり、文部科学省　事務次官　山中伸一さまをはじめとする御来賓の皆様方にご臨席を賜りましたことに、謹んで御礼を申し上げます。

昭和23年6月に全国ＰＴＡが創立され、昭和32年には「日本ＰＴＡ全国協議会」と改称され、今日に至るまで、その誇りある名称と活動が引き継がれてまいりました。

あわせて、日本のＰＴＡという組織の存在意義を明確にし、支え、見守ってこられた多くの先達・関係諸氏に敬意と感謝を申し上げる次第であります。

本式典において、受賞されます優良ＰＴＡ団体及び功労者の方々は、日ごろの優れたＰＴＡ活動が高く評価され、それを顕彰するものであり、心から御祝いを申し上げますとともに、その功績を称え慶びを分かち合いたいと存じます。

ＰＴＡは、保護者と教職員が主となって家庭と学校、学校と地域、地域と家庭をつなぐ子どもを中心に置いた地域教育や家庭教育を活性化させる役割を担っています。

その活性化をさせる手段・方法に、広報紙が大切な役割を果たしていることが、様々な広報紙から感じ取ることができます。その時々の活動内容や学校での出来事や地域への思いなど記録としての役割。時事的な問題提起やそれを解決するための提案といった啓発や教育に関する役割等、情報源でもあり、教育源でもあり、地域史でもあります。

これからも広報紙の作成を通じて、人とのつながりや地域とのつながりが、より一層深まることをご期待する次第であります。

私たちＰＴＡは「子どもたちのために」を大前提として活動していますが、実は保護者や教職員が、人とのつながりや地域とのつながり、社会を知り自分を成長させることができる場でもあります。

栄えある受賞者の皆様におかれましては、豊富な識見と尊い経験を生かし、ＰＴＡの発展、さらには地域社会の発展のためにご活躍されることをご祈念申し上げます。

また、御来賓の皆様方には、日本のＰＴＡのより一層の充実のために、更なるご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げ、式辞とさせていただきます。

文部科学大臣祝辞

祝辞
文部科学省事務次官
山中　伸一　氏

当日公務により、文部科学省　事務次官　山中伸一　様により代読されました。

本日、平成二十六年度日本ＰＴＡ全国協議会年次表彰式がこのように盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

ＰＴＡの皆様におかれては、日頃からＰＴＡ活動を通じ、学校・家庭・地域の懸け橋として、子供たちの健全育成と学校教育の支援に御尽力を頂いておりますことに、この場をお借りして感謝申し上げます。

特に、本日栄えある賞を受賞された皆様におかれては、永年にわたり、他の模範となる活動に努められ、ＰＴＡ活動の振興に多大な貢献をされました。これまでの御功績に対し、深く敬意を表します。

日本の将来を担う子供たちは国の一番の宝です。教育は国の根幹を形づくる最重要政策です。教育再生のための施策を実行に移し、世界トップレベルの学力と規範意識を備えた人材を育成してまいります。

文部科学省では、子供たちが主体的・協働的に学ぶ課題解決型授業への転換や、専門的な知見を有するスタッフの配置充実による「チーム学校」の推進などを盛り込んだ、十か年の新たな教職員定数改善計画案を策定しました。これが実現すれば、十四年ぶりの法改正を伴う定数改善計画となります。

財政当局からは、小学校一年生の四十人学級化や教員給与の縮減など到底容認できない主張がなされておりますが、文部科学省としては、子供たちのさらなる教育環境の充実のため、定数改善計画の実現に向けて最大限努力してまいります。

㊨文部科学省大臣官房審議官　徳田正一氏

いじめは、絶対に許されません。いじめ防止基本方針を基に、総合的な対策の実施を進めます。体罰についても、禁止の徹底を図ってまいります。心と体の調和の取れた人間を育成するため、道徳の時間の新たな枠組みによる教科化に取り組むとともに、文部科学省が作成し、今年度から全ての小・中学生に配布している副教材「私たちの道徳」の活用を促してまいります。

「私たちの道徳」は、学校のみならず、家庭や地域においても広く活用していただきたいと考えて作成したものです。家庭に持ち帰って、家族と一緒に話し合うなど、家庭や地域においても有効に活用していただきますようお願いします。

学制改革については、小中一貫教育の制度化をはじめ、発達に応じた教育の充実、様々な挑戦を可能とする制度の柔軟化などに取り組んでまいります。今年の通常国会では、戦後五十八年ぶりの改革となる教育委員会制度改革のための法律が成立しましたが、ＰＴＡの皆様方におかれては、ぜひこの新たな教育委員会に教育委員として御参画いただき、教育行政に保護者の声を積極的に反映していただくことを期待しています。

また、不登校などの課題を抱える子供たちのために、フリースクールなど多様な場で自信を持って学べる環境を整えてまいります。

いわゆる貧困の連鎖によって子供たちの将来が閉ざされるようなことがあってはなりません。子供の貧困対策に関する大綱を踏まえ、幼児教育の段階的な無償化、スクールソーシャルワーカーの配置拡充、地域による学習支援の充実等に取り組んでまいります。

土曜日の豊かな教育環境の実現に向けては、私をはじめ、文部科学省の職員が率先して学校や地域の教育活動に参加するよう努めています。また、地域や企業等の協力を得て、今年度は全国で約一万二千校で行われている土曜日の教育活動が、より多くの学校で展開されるよう取り組んでまいります。

日本ＰＴＡ全国協議会にも、土曜学習応援団として御参画いただいていますが、社会全体で健全育成を図っていくため、今後とも、積極的な御協力をお願いいたします。

社会の環境が大きく変化する中、長年にわたり、子供たちの健やかな成長を願い、多様な活動を展開してこられた日本ＰＴＡ全国協議会及びに各学校のＰＴＡに寄せられる期待は、誠に大きいものがあります。

ＰＴＡ活動に携わる皆様方は、我が子だけでなく、全ての子供たちのためにという気持ちを持って、仕事や家庭との両立など様々な工夫をしていただいていることと存じます。そのような皆様方の熱意や日頃の御尽力に感謝申し上げるとともに、文部科学省としても皆様と手を携え、我が国の教育の一層の充実に努めてまいります。

〈2面へ続く〉

日本ＰＴＡ

発行所
〒107-0052
東京都港区赤坂７丁目５番38号
公益社団法人
日本PTA全国協議会
発行人　尾上浩一
電話　03（5545）7151
FAX　03（5545）7152
ホームページアドレス
http://www.nippon-pta.or.jp/

綱領

本会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校及び中学校におけるＰＴＡ活動を通して、我が国における社会教育及び家庭教育の充実に努めるとともに、家庭、学校、地域の連携を深め、子どもたちの健全育成と福祉の増進を図り、もって社会の発展に寄与する。

主な内容

1面
○年次表彰式
2面
○年次表彰式
○優良PTA紹介
3面
○全国研究大会
長崎大会総括
4面
○日本ＰＴＡ
ブロック研究大会
5面
○日本ＰＴＡ
ブロック研究大会
6面
○刊行予定書籍
○国内研修事業
○優秀広報紙集
7面
○推薦映画紹介
○県Ｐ自慢
○学校の窓から
8面
○心のきずな
61教育支援
基金
○そよ風通信